

4オクターブ自在 全日本グランプリ

17歳のハーモニカ心震わす

ポケット一つで、どこでも音楽が奏でられる――。府立緑風冠高校2年、岡直弥君(17)(四條畷市)が奏でるクロマチックハーモニカの音楽が、人気を呼んでいる。小学3年で習い始め、老人ホームでの慰問演奏やイベント出演などを続け、今年6月には、全日本のコンテストでグランプリを受賞。クリスマススイアの24日には兵庫県西宮市の百貨店で演奏会を開く。

クロマチックは、吹き口が16個と多く、スライドレバーを押すとそれぞれの半音が出せる。4オクターブと音域が広いのが特徴。

学校の授業で習ったハーモニカが気に入入り、両親が見つけた大東市の教室で、大人に交じってクロマチックに取り組み始めた。「いろんな音が出せるのが楽しくて、すぐに夢中になった」

四條畷・岡直弥君

あす西宮で演奏会

という。月4回のレッスント、自宅での1日2時間の練習が当時からの日課だ。正確なリズム感や、音を震わせる巧みなビブラートが持ち味。2006年に国際ハーモニカ連盟日本支部のコンテストのジャズ・ポップス部門で3位入賞。今年6月には同部門1位のほか、全6部門のトップから選ばれるグランプリも勝ち取った。

レパートリーは100曲以上。「栄光の架橋」や「ハナミズキ」などの流行曲のほかジャズ、クラシックなど幅広い。

中学生の時、大阪市内の楽器店の依頼で店頭演奏。それを聞いた男性が、その場でクロマチックを購入してくれたことがうれしかったという。将来の夢は、プロ奏者。「もっと技術を磨き、アドリブ演奏ができるほどの腕前になりたい」と目を輝かせる。

24日は西宮阪急4階で、正午と午後2時半の2回、クリスマスや冬にちなんだ12曲を披露する。無料。

「クロマチックハーモニ

カは、自分の体の一部みたいなもの」と話す岡君

